



師走(しわす)となりました。師走の「師」は教師の「師」との説があるそうで、先生が年末に忙しくする様だそうです。しかし、実際にはこれより有力な説があって、例えば、「師」は僧侶で、昔は年末になるとお坊さんを家に呼んで、お経をあげてもらう習慣があったのだとか。いずれにしても、学校は慌ただしく2学期の終了を迎えようとしていることに変わりはありません。

世間では、またまた「オミクロン株」がどうのこうのと騒ぎ出してはいますが、何とか現在の落ち着きが続くように願うばかりです。残り少ない「令和3年」に幸あれ!

新企画の『TEACHERS@中部中 リレーインタビュー』
4回目となる今回は、寺島鈴香先生です。

---- いつも、元気いっぱい頑張ってるという印象が強いですが。
寺島 今年、初めて担任をしたので、日々忙しい感じで、一日一日が大変です。でも、クラスの子たちとの関係性が濃くなっていくのは嬉しいことですね。
---- そのクラスの様子はどう?
寺島 B組はみんな規律がしっかりしていて、いい子たちばかりです。
---- 自分が中学校の頃と比べたら、やはり違いますかね? 年齢的には近い方ですけど。
寺島 自分の時は、先生への相談とかしなかったんですけど、今の子どもたちは、色々話しに来てくれるので。例えば、恋話(コイバナ)とか。
---- やっぱ、年が近いというのが、とてもいい武器になると思いますよ。お姉さんの存在ですね!

寺島 そんなことはないですけど、みんなかわいいです。
---- ところで、お休みの時はどんなことしてますか?
寺島 ソフトボールしてます。
---- 学校とかわらんやん!
寺島 趣味もソフトボールで、自分のチームでやっています。
---- ソフトボールは、中学校の頃から始めたのかな?
寺島 小学校の頃は、ハンドベースみたいな感じから始まって、その後はずっとソフトボール。
---- ずばり、ソフトボールの魅力って何ですか?
寺島 私、水泳もやってたんですけど、ソフトボールはチームでできるのが楽しくて、それが一番の魅力かな。それと、頭を使って相手のスキをつくのが楽しいです。
---- 今年のソフトボール部は、先生の目から見て何点でしょうか?
寺島 そうですね...60点かな。



寺島鈴香先生

---- かなり厳しいですね。マイナス40点分の要因は何ですか?
寺島 まだまだ、やらされているという感じがします。あと、声が小さい、出せない。声を出すとリラックスにつながるし、プレーの確認もできるんですけどね。
---- なるほど。突然ですが、将来の夢ってありますか?
寺島 う~ん、夢...ぜひ自分のチームで勝負してみたい。全国の大会で活躍したい、させてみたいです。
---- やっぱり、最後までソフトボールでしてくれました! どうもありがとうございました。

【インタビュー後記】
実は私の娘と同級で、しかも共通の知り合いが。世の中狭い! 子ども目線で、クラスも部活も見てくれていて、生徒たちからは、とても慕われる存在なのでしたあ...

★次回は、三田貴宏先生を予定しています。



吉野先生 ➡ 寺島鈴香先生



国税庁と全国納税貯蓄組合連合会では、毎年、全国の中学生から「税についての作文」を募集しています。これは、将来を担う中学生が、身近に感じた税に関すること、学校で学んだ税に関すること、テレビや新聞などで知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち正しい理解を深めるという趣旨で実施されています。このたび、本校3年生の小川実桜(おがわみおう)さんが三重県教育委員会賞、中西圭佑(なかにしけいすけ)さんが鈴鹿税務署長賞となり、学校で表彰式がありました。



12月1日(水) 校長室にて